

まちな医療機関がなくなる危機
地域医療
シリーズ6

みみはらグループ 医療介護

緊急署名18,300筆を超える!!



堺東・鳳・新金岡で署名・宣伝行動

堺東駅前
10月23日夕方、最初の街頭宣伝・署名行動として堺東駅前で行われました。みみはらグループの職員、友の会の会員さんに加え、大阪みなみ医療福祉生協の職員や組合員、大阪民連事務局員など約80人が集まり、11人の役割者と現場職員がマイクを握り、医療現場の切実な実情を市民に訴えました。多忙で患者一人ひとりに十分寄り添えない現状、人手不足で処遇改善が進まない苦しさ、そして「ミサイルよりケアを」という強い願いを、参加者全員で切実に訴えました。「病院がなくなったら困る」「家族の命を救ってほしい」

この行動を受け、12月22日夕方には鳳駅前、みみはらグループによる緊急行動・国民署名の街頭宣伝を実施しました。冷たい寒さが身に染み渡るなか、西区・鳳エリアを中心に約60人の職員、友の会の会員さんが参加し、理事長や副理事長、看護師長らが次々とマイクを握り、地域医療を守る重要性を訴えました。帰宅を急ぐ市民や若者、学生など、幅広い世代が足を止め、署名にご協力いただきました。1時間で52筆の署名が集まり、地域に医療を残したい思いが、着実に広がっていることを実感しました。

2025年12月22日
鳳駅前



この行動を受け、12月22日夕方には鳳駅前、みみはらグループによる緊急行動・国民署名の街頭宣伝を実施しました。冷たい寒さが身に染み渡るなか、西区・鳳エリアを中心に約60人の職員、友の会の会員さんが参加し、理事長や副理事長、看護師長らが次々とマイクを握り、地域医療を守る重要性を訴えました。帰宅を急ぐ市民や若者、学生など、幅広い世代が足を止め、署名にご協力いただきました。1時間で52筆の署名が集まり、地域に医療を残したい思いが、着実に広がっていることを実感しました。

さらに、年をまたいで1月21日には、新金岡駅前でも3回目の街頭宣伝を行いました。参加人数はこれまでより少なかったものの、友の会の会員さんや若手事務職員も加わり、世代を超えた訴えとなったことが大きな特徴でした。若い世代からの声は同世代の共感を呼び、署名へとつながっています。小雪が舞う寒さの中でも70筆の署名が寄せられ、「病院がなくなったらどうしたらいいの」「頑張ってほしい」との励ましの言葉も多々いただきました。

新金岡駅前

今回の緊急行動・国民署名宣伝は、友の会と職員との連携、世代を超えた連帯で協力を広げることができました。厳しい経営環境は続いていますが、貴重な経験を活かし、地域医療を守るため、今後も訴えを止めず、たとえ行動

無料低額診療事業15年間の振り返り
みみはらの2000事例から見えてくる
“暮らし”と“社会保障”の課題

3月14日(土) 14:00~16:00
(13:30開場)

会場 堺市総合福祉会館 6階ホール
(堺市堺区南瓦町2番1号
南海高野線「堺東駅」から徒歩7分)

参加費 無料 **定員** 500名

お申し込み 事前申込み不要。どなたでもご参加いただけます。

シンポジスト
吉永純氏 (花園大学社会福祉学部教授)
西岡大輔氏 (京都大学大学院医学研究科
社会的インパクト評価学講座特定准教授)
雨田信幸氏 (きょうされん大阪支部事務局長)
大平路子氏 (耳原総合病院ソーシャルワーカー)

【主催】 3.14 無料低額診療事業シンポジウム実行委員会
【問い合わせ】 社会医療法人同仁会 (☎072-244-7260)
メール: kitade-y@mimihara.or.jp

を続けていくことが重要です。2月16日時点でみみはらグループの署名到達は1万8322筆、大阪民連の到達は8万1523筆で8万筆の目標を達成することができました。

達1万8322筆、大阪民連の到達は8万1523筆で8万筆の目標を達成することができました。

2026年
1月21日
新金岡駅前

